

## 第 12 回 200 年の森づくりデザイン策定実行委員会

日 時：平成 24 年 7 月 2 日（月） 14:05～16:15

場 所：前橋市市民活動支援センター 会議室（前橋プラザ元気 2 1/3 F）

参 加 者：大松 稔（NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会）、田中洋助（ぐんま森林インストラクター会）、菊川照英（NPO 法人フォレストぐんま 2 1）、高橋正直（群馬県渋川森林事務所長）、田村 宏（前橋市農政部長）、石塚 征人（赤城南麓森林組合）、岡田 茂（サンデンファシリティ株式会社）、長島 成和（株式会社興林）、小林善紀（事務局）

### 議 事 録

平成 24 年度実行委員会新メンバー 紹介

新メンバーとして渋川森林事務所長高橋さんに挨拶して頂き、他のメンバーは自己紹介をした。

### 議 題

1、前回（第 11 回）議事録によるレビュー。

第 11 回議事録を資料として配布し、事務局の朗読により確認し、承認された。

2、平成 24 年度日本財団助成事業「松枯れ林地再生プロジェクト」 実施事業報告

第 10 回桐生・新宿 森と水による交流 実施報告

実施報告書とプロジェクターにより報告し、承認された。

3、200 年の森づくりデザイン策定について（5～6 回の実行委員会等を経て）

方向性の共有化と時系列計画立案

- ・ 環境省で作成した 環境植生図（赤城地域の）の入手 小林が群馬県自然環境連盟事務局長吉田氏を通して里見、須藤両氏にアプローチすることとする。
  - ・ 県で作成した 土壌図（赤城地域の）の入手 大松座長が県環境森林部より入手を試みる。
- 以上から始める提案があり、認識が共有された。

以上 2 点は入手済み

それぞれ実行委員に確認していただき、大変貴重な資料であることが共有された。

- ・ 最新の赤城地域松枯れ被害現況図を作成、提示する。

1988 年時点の赤城地域の森林植生状況は入手した現存植生図で知り得る。

被害現況図は森林組合をとおして入手できる、最新の森林航空測量図から松枯れ林地を 5 段階に分類し、色別に塗りつぶしを行っていくことにした。そのためには大松座長を中心に、長島委員、石塚委員、小林事務局員により 8 月後半に赤城南麓森林組合に集まり 5 段階の定義づけを行う。また、分類する各段階の林地の現場確認も行う。この 5 段階塗りつぶし図面を基に、次回の実行委員会で次のステップについて話し合い、森づくりデザイン策定へのプログラムを確認していく。

田中委員より

- ・ 今後の事業として、200 年の森づくりデザインを下にしたモデル森づくりに着手したらどうか？
- ・ 民有林を対象にした企業参加、ボランティア参加の森づくり事例は今までに無い、赤城自然塾として森林所有者と企業、ボランティアの間でコーディネートしていくことは必要である。
- ・ そのためにも 200 年の森づくりデザインが説明しやすい画像入りの DVD を作成する必要がある。

AKG の森づくり報告

プロジェクターにより映像を通して報告し、確認された。

広報用 DVD 作成には利用していただける。

森づくりの取り組み事例の一つであるが、企業・森林所有者に継続的に賛同・協力を得るためには更なる工夫がひつようであることが確認された。

#### 4、前橋工業高校生徒による水源の森づくり実践

8月下旬 国立赤城青少年交流の家宿泊棟北側

7月に対象地の整備を行い、8月下旬に前橋工業高校生徒による水源の森づくり実践する

7月15日(日) 8:30 国立赤城青少年交流の家 アクティビティホール前集合で  
フォレストぐんま21が10名+、赤城南麓森林組合2名、国立赤城青少年交流の家2名、赤城自然塾1名+ が林地整備に当たることになった。

#### 5、その他

次回の日程

日 時：9月10日 14:00～16:00

場 所：前橋市市民活動支援センター 会議室

以上